

総 ・ 想 ・ 創
そう ・ そう ・ そう



新・中期経営計画
(2019年3月期～2021年3月期)

2018年5月18日
ナカバヤシ株式会社
代表取締役社長 辻村 肇

**中期経営計画（2016～2018）
“つぎつぎと、次のこと。” 振り返り**

基本方針

◆収益力の強化

- ・ブランドイメージの確立
- ・高付加価値商品による粗利益率の向上
- ・グループ間のシナジーの最大化
- ・人材育成

◆成長力の推進

- ・新規事業の創造
- ・海外事業の開拓
- ・ネット事業の展開
- ・M&Aの積極な取組み

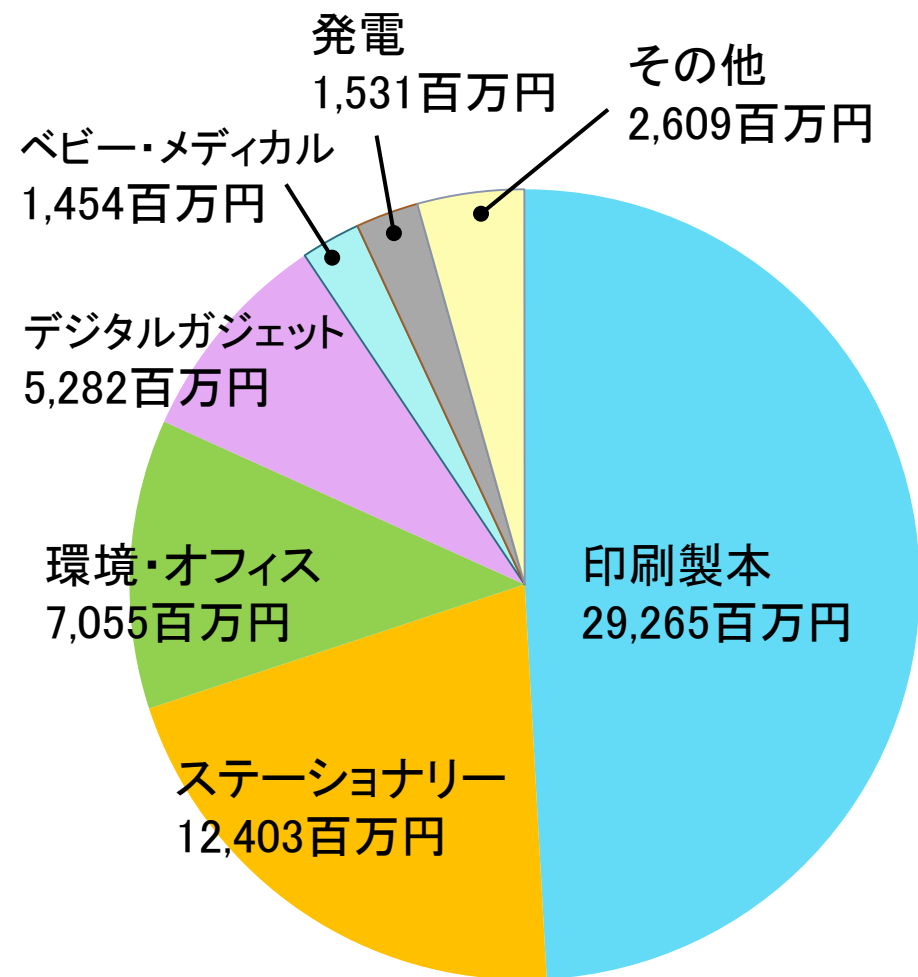
◆株主価値の向上

- ・ROE 8%
- ・機動的な資本政策と株主還元強化

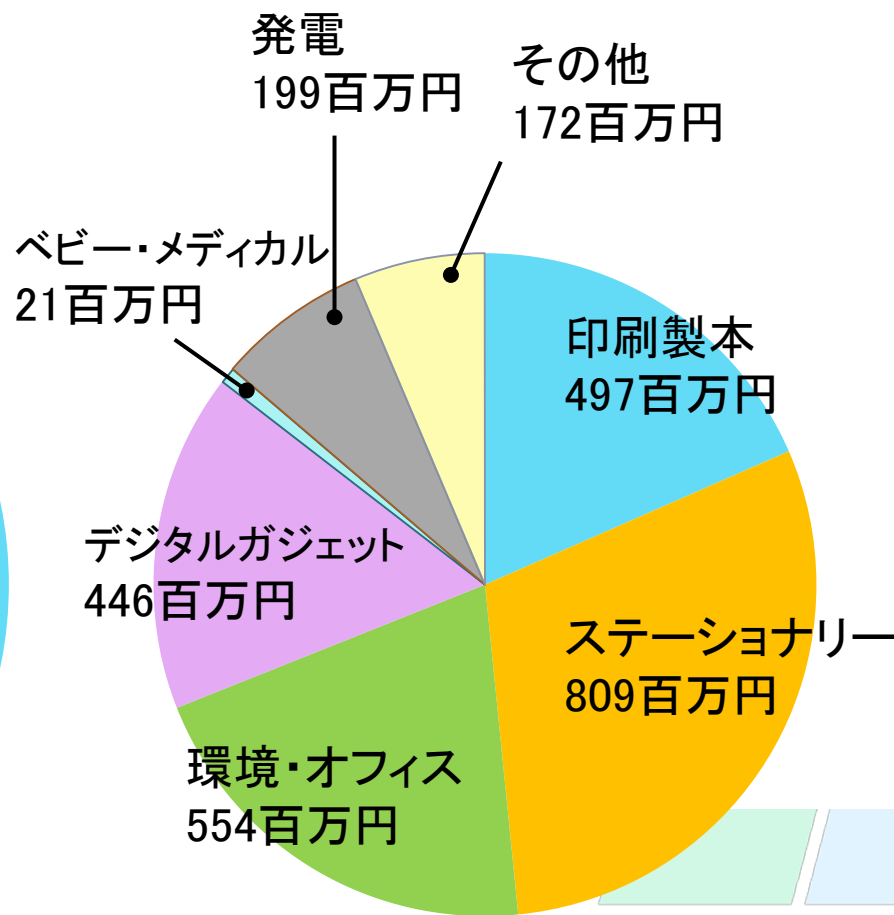
| 連結 | 2016年 3月期 実績 | 2017年 3月期 実績 | 2018年 3月期 実績 | 中期経営計画 目標値 |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 売上高 | 562億円 | 578億円 | 596億円 | 600億円 |
| 経常利益 | 25.3億円 | 28.3億円 | 29.5億円 | 30.0億円 |
| 経常利益率 | 4.5% | 4.9% | 5.0% | 5.0% |
| ROE | 5.9% | 7.3% | 7.5% | 8.0% |



セグメント別（2018年3月期実績）

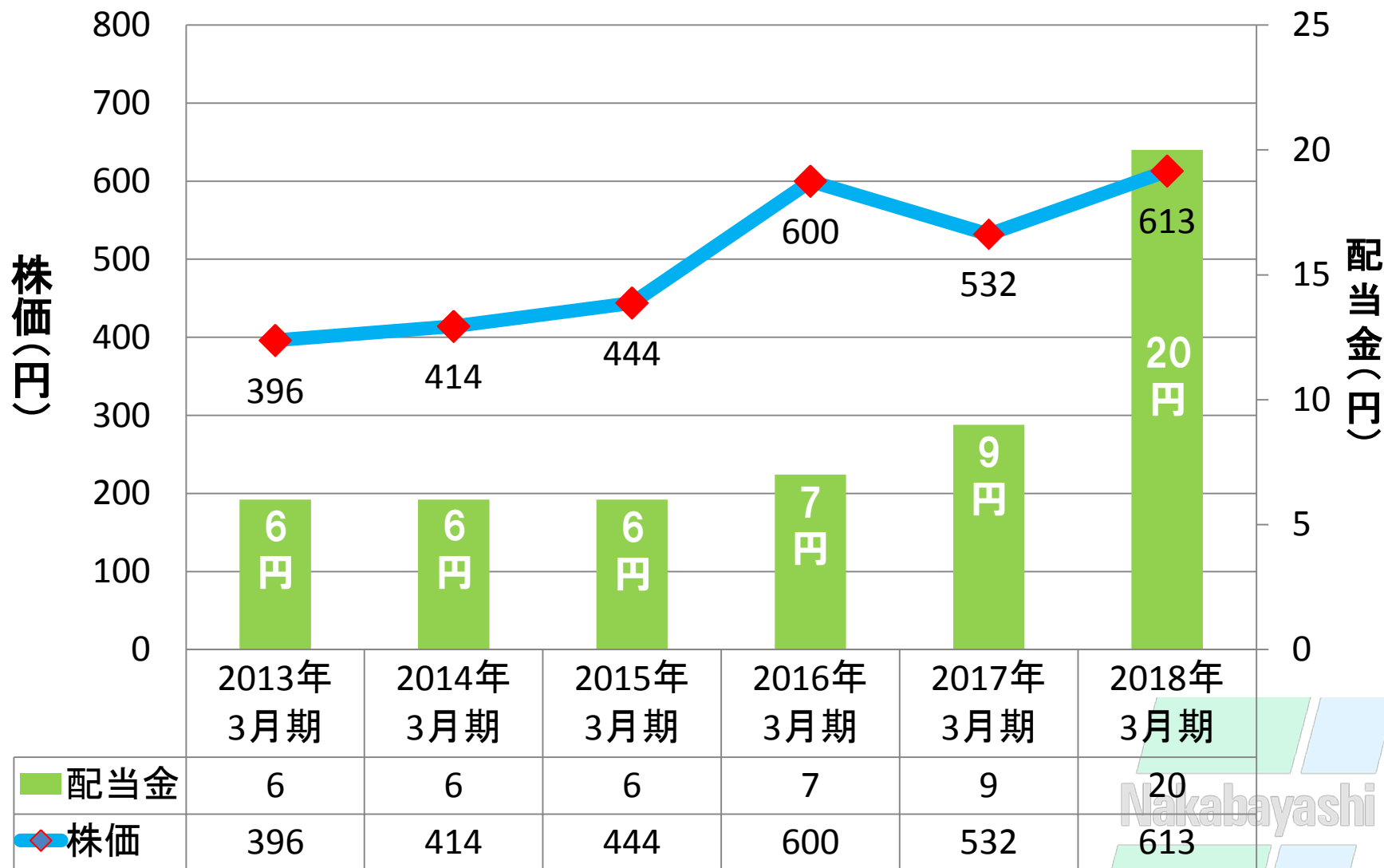


売上高



セグメント営業利益調整費 △106百万円

営業利益



※2017年10月1日より、単元株式数の変更および株式併合(2株を1株に併合)を実施したことに伴い、株価は補正しています。
 ※株価につきましては、3月末日の終値を表示しています。

◆収益力の強化

ブランドイメージ確立に向け、若年層を中心とした認知度強化を図る一方、ライフスタイルツールなど高付加価値商品の発売なども企業イメージ向上に寄与しました。

グループ会社間の生産協力体制も整備され稼働率や原価面で収益力の強化につながりました。

◆成長力の推進

新規事業としてシール・ラベル事業への本格参入、製本工場とにんにく生産の二刀流などの事業が進展しました。

M&Aを積極的に取り組んだ結果、リーベックス(株)・(有)マルヨシ民芸家具・(株)八光社・国際チャート(株)がグループ入りしました。

2018年3月には米国に現地法人を設立し、海外事業のさらなる推進も図ります。

◆株主価値の向上

ROE8%の目標を掲げておりましたが2018年3月末の実績は7.5%に留まりました。機動的な資本政策として、自己株式の購入や消却を実施し、2017年10月には株式併合(2株を1株に)や単元株式の変更(1000株から100株へ)を行いました。

その結果、株主数の増加につながりました。

新・中期経営計画（2019～2021） “総・想・創”について

新・中期経営計画

(2019年3月期～2021年3月期)

総 ・ 想 ・ 創
そう ・ そう ・ そう

総合力を結集し 想像力を掻き立て 創造企業を目指す



◆収益力の強化

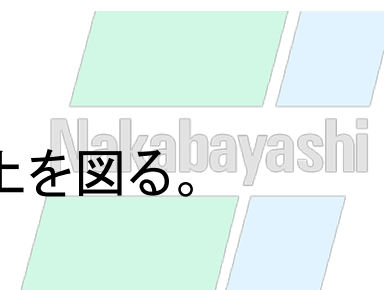
- ①グループ会社及び商品の認知度向上を図り、ブランドイメージを確立する。
- ②顧客に信頼される付加価値の高い商品の開発を継続し粗利益率の向上を図る。
- ③グループ会社間のシナジー効果を生産面、販売面の両面において最大限発揮する。

◆成長力の推進

- ①新規事業の創造に取り組み、事業領域の拡大、多角化を図る。
- ②海外販路の開拓を推進する。

◆株主価値の向上

財務基盤の強化、機動的な資本政策により株主価値の向上を図る。



これまでの【収益力の強化】【成長力の推進】【株主価値向上】に加え、より具体的に「ナカバヤシからの6つの約束」を実践してまいります。

- ① 売上高660億・経常利益率6.0%
- ② ROE8.5%
- ③ 有利子負債20%削減
- ④ 配当性向30%-40%堅持
- ⑤ グループの再編・シナジーの創出
- ⑥ 多様な働き方の実践

経営の効率化、経営資源の最適配分に取り組むため、
セグメントを5つに再編し、名称の変更をいたしました。

印刷製本
関連事業

その他事業

(人材派遣・試験運営委託)

ステーションリー
関連事業

デジタルガジェット
関連事業

ベビー
関連事業

環境・オフィス
関連事業

メディカル
関連事業

ビジネスプロセス
ソリューション
事業

コンシューマー
コミュニケーション
事業

オフィス
アプライアンス
事業

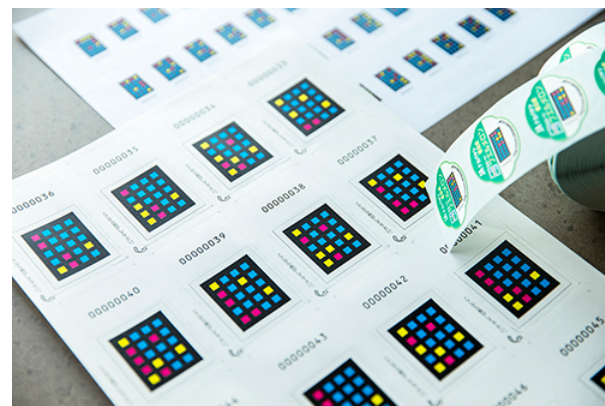
5つの事業セグメント

| 事業名 | 事業内容 | 取引先 |
|--------------------|--|---------------------------|
| ビジネスプロセスソリューション事業 | BPO・データプリントサービス・図書館ソリューション・手帳・人材派遣・試験運営受託 | 官公庁・民間企業・図書館・学校・金融機関 |
| コンシューマーコミュニケーション事業 | ノート・アルバム・ファイル・収納整理用品・ガジェット周辺用品・プリンタ用紙・チャイルドシート | GMS・文具店・専門店・ホームセンター・家電量販店 |
| オフィスアプライアンス事業 | シュレッダ・製本機・古紙リサイクル・オフィス家具・電子カルテワゴン・点滴スタンド | 官公庁・金融機関・民間企業 |
| エネルギー事業 | 木質バイオマス発電・太陽光発電 | 民間企業・電力会社 |
| その他事業 | 農業 | ホテル・レストラン等飲食店、食品系商社・スーパー |

ビジネスプロセスソリューション事業

「こまったを良かったに」をスローガンに、
ビジネスプロセスにおける様々な困りごと、課題を共に解決する
「価値共創企業」を目指します。

- ①図書館や公共団体などからのアウトソーシング受託業務を拡大します。
- ②フルフィルメント事業にチャレンジし、顧客特性に応じたサービスを強化いたします。
- ③グループ会社のシナジーをフルに発揮し、顧客の様々な課題解決に貢献いたします。



消費者と日常にフォーカスし親和性を高めた製品を開発、提供する「ライフスタイル創造企業」を目指します。

- ①屋外においては便利を想像した製品、屋内においては快適を創造した製品の開発、提供を行います。
- ②筆記具などの新たなブランドの構築に取り組みます。
- ③アジア・北米の販路拡大に注力いたします。



オフィスアプライアンス事業

ワーカーズファーストの観点で、オフィス環境の改善を想う
「職場ゆとり創見企業」を目指します。

- ① 独創的な事務機器の開発により
オフィスの効率化を図ります。
- ② 働く人の「時間」と「心」のゆとりを創造する
快適なオフィスづくりに貢献いたします。



エネルギー事業

**木質バイオマス発電及び太陽光発電の安定稼働と
新分野の創造を目指します。**



Nakabayashi



その他事業

製本と農業の二刀流の完成と農業の6次化を目指します。



有利子負債20%の圧縮

収益力の強化、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮、
資産の効率化・有効活用に取り組みます。

ROE8.5%の達成

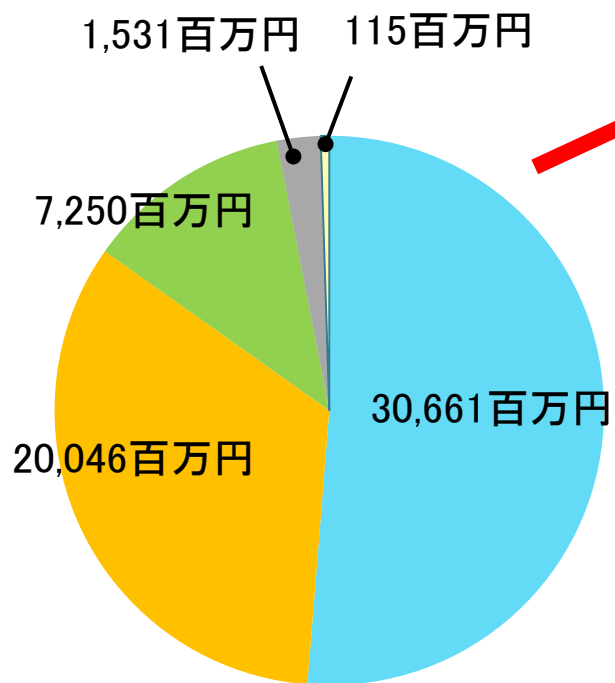
収益力の強化を図り、機動的な資本政策を実施します。

配当性向

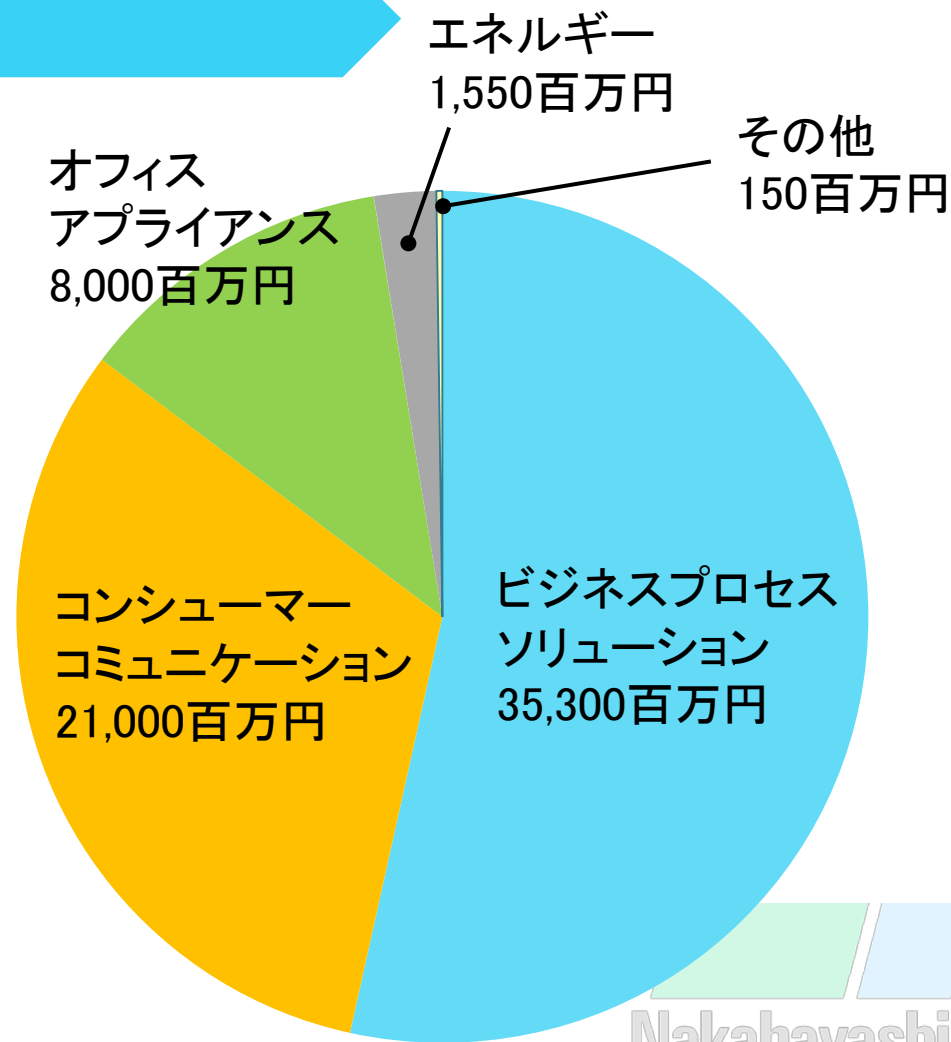
連結配当性向を30%～40%を堅持します。

| 連結 | 2018年 3月期 実績 | 2019年 3月期 目標 | 2020年 3月期 目標 | 2021年 3月期 目標 |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 売上高 | 596億円 | 635億円 | 650億円 | 660億円 |
| 経常利益 | 29.6億円 | 31.7億円 | 36.0億円 | 39.6億円 |
| 経常利益率 | 5.0% | 5.0% | 5.5% | 6.0% |
| ROE | 7.5% | 7.7% | 8.2% | 8.5% |

売上高（連結）

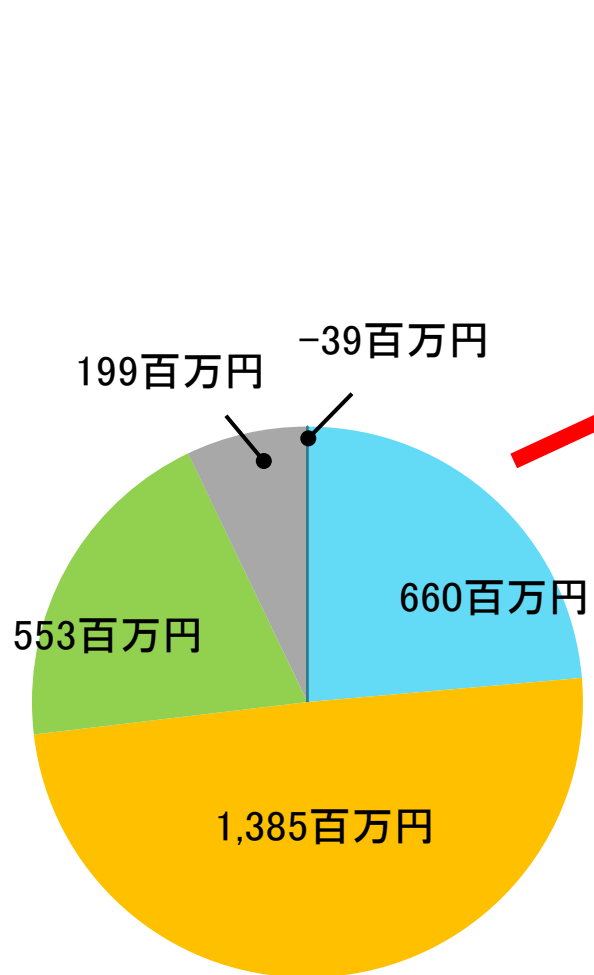


2018年3月期実績

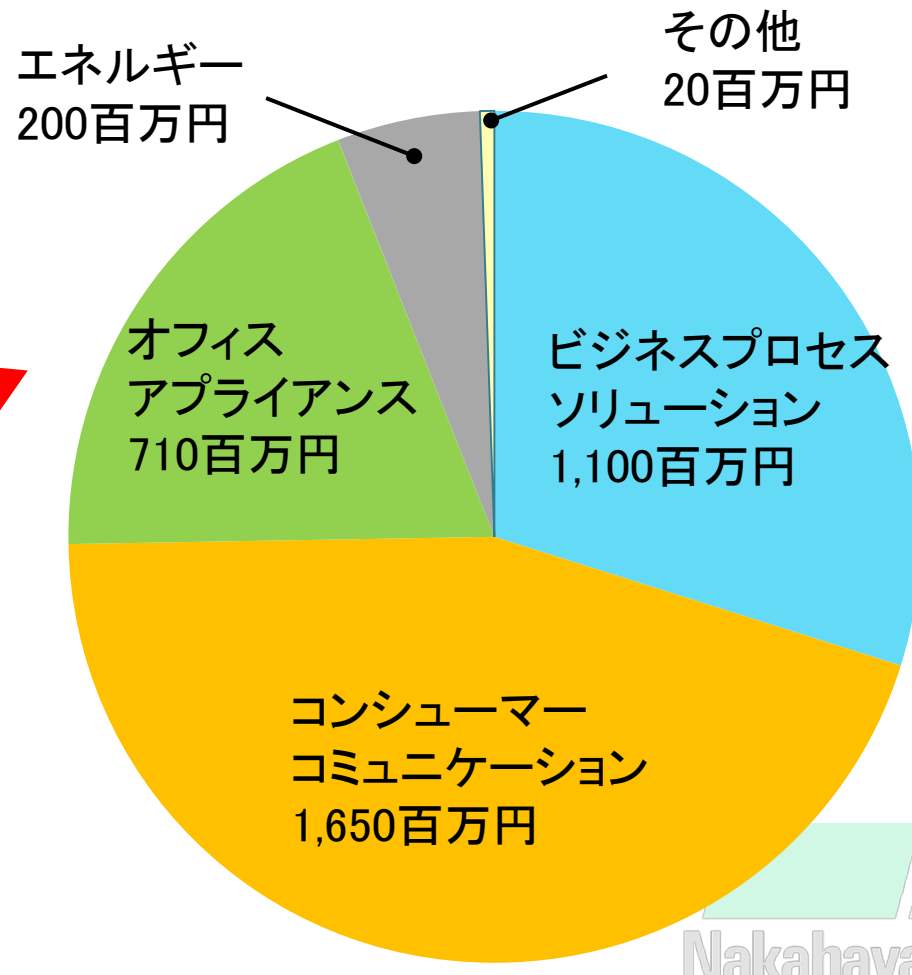


2021年3月期目標

営業利益（連結）



2018年3月期実績



2021年3月期目標

総 ・ 想 ・ 創
そう ・ そう ・ そう



ナカバヤシ株式会社